



# 日本聖書神学校 学 報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16 ・ ☎ 03-3951-1101 ~ 2 ・ Email: jbts@jbts.ac.jp

2017年9月10日

第155号

発行人 神保 望  
印刷所 山猫印刷所

## 今号の内容

巻頭言	1
シリマン大学神学校研修報告	2
決算報告	2
夏期伝道実習	3
オープンキャンパス	3
神学校授業"体験週間"	3
『聖書と神学』原稿募集	3
学事報告	4
個人消息	4



## 【巻頭言】

### 見知らぬ訪問者

教授 古谷正仁

「知恵と知識の宝はすべて、キリストの内に隠れています。」(コロサイ2章3節)

もう10年位前のことであろうか。ある日の夕刻、教会に見知らぬ女性が訪ねて来た。彼女は勧められた椅子に腰を下ろすと、思いつめたように言った。「私、困っているんです。」

話を聴くと、小学校低学年の少女の母親とのこと。この少女は、現在不登校で家にいる。彼女に兄弟姉妹はなく、母親と二人暮らし。教会に現れたこの女性は、教会の近所に勤め先がある。

「私、心配なんです。娘が独りで家にいるかと思うと、仕事が手につかなくなりました。でも、何かあっても家まで1時間位かかります。飛んで帰って訳にはいきません。困っていたら、ふとこの教会のことを思い出しました。毎日この前を通っていたからです。ご迷惑なのは分かっています。でも、もし、教会で娘を預かって戴けたら、ここなら勤務先から直ぐですし…。そうすれば私も安心して働けるんです。何とかお願いできないでしょうか?」

若い母親は、一気にそれだけ話すと、身の置き場がないような素振り下を向いた。そして私は、この唐突な依頼にどう答えたらよいか分からず、気まずい沈黙が流れた。

やがて珍しく、猛烈な速さで脳みそをフル回転させながら私は口を開いた。「それはお困りでしょう。何とかお手伝いしたいのですが、教会は託児所ではありませんから、出来ることと出来ないことがあります。もし出来るとしたら、他の人間も賛成してもらわなければならないのですが…」私は続けた。①私も伝道師も、仕事があるので、お子さんの世話に集中することは出来ない。②出来るとすれば、ある時間、お子さんが教会におられて、基本的に自由に過ごしてもらい、私達は出来るだけ見守るように努力する、ということ位だ。③その程度のことでよければ、お子さんをお預かりできるかもしれない。相談しなければならぬ人達も要

るが。こんなことで良いか、考えて戴けないだろうか。

実に何とも、だらしない、情けない回答である。彼女は、何とも言えない顔をして、それでも丁寧にお礼を述べて帰って行った。

それから3ヶ月位経った頃、この母親のことを気にかけてながら、私は日常に埋没していたのだが、彼女は前回とは打って変わった晴れやかな笑顔で、大きなお菓子の袋を抱えてやって来たのである。

「私、あれからずっと、牧師さんが言われたことを考えていました。そして、私、何てずうずうしかったんだらうって恥ずかしくなったんです。信者でも何でもないのに、突然やって来て娘を頼みますって。でも牧師さん、受け止めて下さいました。私、嬉しかったんです。また相談に来て下さいって。だから私、本当に困ったら、もう一度ここへ来れるんだって。私、あれから頑張ったんですよ。毎日教会の前を通りながら、最後にはここへって。まだ頑張れる、まだ頑張れるって、牧師さんの顔を思いだしながら頑張ったんです。まだまだ大変だけど、一番辛い時期は終わったのかも知れません。使えるものは何でも使って、助けてもらえる人には頭を下げて。ここは最後の砦でした。有難うございます。教会があったから、私、やってこれたんだと思います。」

私の怠慢を遥かに越えて、主は働いて下さった! 嬉しいやら恥ずかしいやらで顔をくしゃくしゃにして、私は彼女から「お礼の気持ち」のお菓子を戴いた。重ねて言うが、私は何もしていない。私は唯、彼女と向き合い、教会が出来ると思われたことを必死で並べ立てただけだ。誇らしいことは一つもない。しかし彼女は、教会が最後の砦だったと言う。教会があったからこそ頑張ることが出来たと言う。神の働きとは、キリストが私達に与える宝とは、この様なものも含まれるのではないか。どの町にも、この様にそっと、教会を心の拠り所として、自らの課題に励んでいる人々がいるのではないか。教会は、見つめられているのである。

# シリマン大学神学校 (SUDS) 研修報告 関 義朗(4年)

五年ぶりに研修が再開されましたが、このように早期の再開が可能になったのは日本聖書神学校に関わる多くの人々の祈りとお支えによるものと感謝いたします。メンバーは神保校長引率のもと、二年石田幸子神学生、一年西川良三神学生と報告者の全員で四人でした。

SUDSは約百年の歴史を持つプロテスタント神学校です。研修ではフィリピン文化と課題、その原因、そしてSUDSの神学と取組みについて講義を受け体験を行いました。

SUDSは、フィリピンが外国に統治されていた時代や軍事政権時代に生



まれた社会構造により多数の貧困者がいる現実において、「苦闘の神学」に基づいて正義と平和の実現に向けた活動をおこなっています。私たちはこの神学の大家であり実践家であるカンバ先生やカビー先生から講義を受けました。そして講義の合間に市内の歴史的遺物や暮しぶりを見学し、政治・経済・宗教の影響を確認しました。

その後、私達は現地（バリリ、ラムダス、アポ島）に行きSUDSが取り組んでいる活動を体験しました。どの現地も飲料水の確保が課題でした。SUDSは工学部等と連携して移動式浄水装置を造り、災害時や緊急時に飲料水を造る活動や飲料水を低料で届ける活動をしています。私達はその活動に参加し、宿泊して生活を体験しました。また地方教会が自営するための果樹園作り活動の現場を見学しました。

研修中の主日はラムダス教会で礼拝を捧げました。人々はギター一本で賛美を捧げ主の御言葉を聞いていま



た。子ども達の笑顔が忘れられません。アポ島では二十年ほど前までサンゴ礁破壊により漁獲量が減り住民が離島していました。SUDSは十五年ほど前から漁業とサンゴ保護を両立させる活動をおこなっています。現在では豊かな自然が回復し、漁業だけでなく観光でも人気の島となっています。三か所とも神学が実践されていました。

これらの研修で私達は神学を学ぶ視座を変えさせられました。「誰に従順であるか」という問いが常に私達に突き付けられました。研修で得たものを分かち合い、そして今後の学びに活かしたいと思います。

## 決算報告

### 2016年度会計について

礼拝堂・図書館棟建築時の借入金及び学校債の返済・償還計画に無理があることが分かり、財政危機が明らかとなりました。この財政危機回避のために全国の教会・伝道所に再建募金へのご協力を2016年4月に行いました。すでに同窓会及び理事・監事・評議員の皆様は2015年秋より緊急募金を立ち上げてくださっておりましたが、そのこともあり多額の献金が寄せられました。本当に感謝です。

それとともに、銀行借り入れを行い、私学財団借入金・学校債の借り換えを計画しました。

銀行借り入れは15年返済としましたので計画的返済を見込めることが出来ることになりました。また、同窓生の皆様の学校債は無利子でご協力いただけることになり、直接的な資金的逼迫から解放されることになりました。

しかし法人全体で見ますと資産総額（帳簿価格）に対する負債総額の比率が高く、40%になります。この比率を低減することが財政的な課題です。今後ともご協力をお願いします。

(文責 土橋総務部長)

学校会計貸借対照表

2017年3月末			
資産の部		負債の部	
固定資産		固定負債	
有形固定資産		学校債	132,250,000
土地	140,831,000	長期借入金	247,345,000
建物	427,546,769	退職給付引当金	257,965
建物付属設備	42,483,419	長期未払金	597,780
構築物	18,316,570	流動負債	
機器・備品	4,931,019	リース債務(1年以内)	1,864,908
図書	123,297,946	未払消費税	4,074,600
特定資産		法人税等充当金	15,871,500
学校債引当特定資産	133,750,000	学校会計未払金	282,478,286
修繕等引当特定資産	24,500,000	土地	58,990,000
その他の固定資産		建物	301,988,858
電話加入権	32,000	建物付属設備	24,947,990
収益事業元入金	162,062,840	構築物	9,804,992
流動資産		器具および備品	323,054
現金預金	61,493,151	リース資産	3,429,960
未収入金	2,407,398	電話加入権	40,000
収益事業未収入金	282,478,286	預かり保証金特定預金	50,000,000
商品	802,263		
立替金	132,800		
資産の部合計	1,425,065,461	負債・資本の部合計	1,425,065,461

学校会計資金収支計算書

2017年3月末			
支出の部		収入の部	
人件費支出	36,825,270	学生等納付金収入	12,162,580
教育研究経費支出	6,286,568	手数料収入	146,500
管理経費支出	20,104,721	寄付金収入	114,652,512
借入金等利息支出	5,211,474	後援会寄付金収入	12,400,000
借入金等返済支出	258,900,000	資産運用収入	5,027
備品支出	183,000	補助活動・収益事業収入	16,280,999
図書支出	2,102,860	雑収入	231,199
学校債引当特定資産繰入支出	133,750,000	借入金等収入	280,797,040
修繕等引当特定資産繰入支出	24,500,000	前受金収入	-797,000
前期未収収益事業未収入金支出	60,537,473	前期未収収益事業未収入金収入	10,757,4839
その他の支出	10,883,951	その他の収入	7,330,580
資金支出調整勘定	-2,893,212	資金収入調整勘定	-274,3263
次年度繰越支払資金	61,493,151	前年度繰越支払資金	69,744,243
支出の部合計	617,785,256	収入の部合計	617,785,256

収益事業会計貸借対照表

2017年3月末			
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	13,587,007	短期借入金	1,320,000
商品	1,449,713	未払金	1,049,024
未収入金	4,145,000	前受金	13,392,000
繰延税金資産	1,420,940	預り金	319,678
		リース債務(1年以内)	1,864,908
		未払消費税	4,074,600
固定資産		法人税等充当金	15,871,500
土地	58,990,000	学校会計未払金	282,478,286
建物	301,988,858		
建物付属設備	24,947,990		
構築物	9,804,992		
器具および備品	323,054	固定負債	
リース資産	3,429,960	長期借入金	7,360,000
電話加入権	40,000	預り保証金	206,000,000
預かり保証金特定預金	50,000,000	リース債務	1,565,052
		純資産の部	
		収益事業元入金	162,062,840
		繰越利益剰余金	-227,230,368
資産の部合計	470,127,520	負債・資本の部合計	470,127,520

収益会計損益計算書

2017年3月末			
支出の部		収入の部	
人件費	12,200,970	店舗賃借料収入	76,240,800
一般管理費	10,826,380	施設設備利用料収入	25,645,006
租税公課	23,345,800	校舎賃借料収入	40,176,000
減価償却費	18,955,727	出版物売上	450,078
学校会計寄付金	12,724,999	受取利息等収入	1
支払利息	30,000	雑収入	171,604
特別損失	9,965,517		
法人税等	15,548,369		
当期純利益	39,085,727		
支出の部合計	142,683,489	収入の部合計	142,683,489



## 夏期伝道実習

### 「夏期伝道実習をふりかえって」 飯泉有一（4年）

今回、夏期伝道の実習先の教会を決めるにあたり、平日の昼間はキリスト教関係の高齢者の施設で介護福祉士として働いていることもあり、「キリスト教と社会福祉」に関する理解を深めたいとの思いを持っていた。市川教会で牧会をされている土橋先生は、社会福祉を専門に学んでこられていると、うかがっていたことと、市川教会の関連の社会福祉施設での実習もあるということで、夏期伝道の実習先として、市川教会を希望した。

市川教会での実習が決まり、7月29日（土）より8月3日（木）までの間の6日

### 夏期伝道実習を終えて

#### 星野香（4年）

今夏、夏期伝道実習として島根県仁多郡奥出雲町の横田相愛教会で学びを得ることができました。横田相愛教会のある奥出雲は、1890年代（明治20年代）頃から、松江のキリスト教伝道者による伝道が行われ、1901年（明治34年）には横田大市にあった宮本屋旅館で最初の集



間、実習に取り組んで来ることができた。3年生の西谷神学生も同じ実習先であった。実習は、市川教会を中心としながら、他の巨摩、峽南、南甲府、葦崎の各教会の牧師先生方と共に進められた。

7月30日（日）には、徳田隆三先生の牧会される巨摩教会の主日礼拝において、「はるかにまさっている」（創世記1の27、マタイ10の26-31）と題し、礼拝説教を担当させていただいた。礼拝終了後には愛餐会の時も持たれ、教会員の方たちと楽しい時を過ごすこともできた。その他にも、各教会での祈祷会や、証し、トーンチャイム練習、甲府刑務所教誨参加等々、色々な経験をさせていただいた。

8月2日（水）に行われた市川教会の会があり、キリスト教の歴史は100年以上になります。

倉吉農学校在学中に友人から借りた新島襄の伝記を読み感銘を受けた、横田の岡崎喜一郎氏は同志社に学び、東京専門学校卒業後、郷里に戻り、「横田の此斐伊川の源から、真の人の魂を救う宗教とそれによる真の教育、肉体そのものを神の愛を通して救う医療のこの三つを流したい」と念願し、実現しようとしてきました。赤水宗次（後の長尾宗次、戦後の横田中学校初代校長）と共にキリスト教夏期修養会を開催し近隣の青年たちに強い影響を与えました。その後、相愛幼稚園設立、1916年（大正5年）には藤原璋夫氏が永生医院を設立、1917年（大正6年）に相愛裁縫女学校開設、1923年（大正12年）に、救世軍横田小隊会館として礼拝堂が建設されました。しかしキリスト教活動が衰退した1937年（昭和12年）から1972年（昭和47年）まで礼拝堂は、横田郵便局として使用され、1939年（昭和14年）の横田町内の大火にも焼失を免れ、1978年（昭和53年）に礼拝堂は



関連福祉施設での実習は、児童（子ども）に関するものであったが、貴重な学びとなった。

最後になるが、市川教会の会堂は、120年前にメソジスト教会として建築されたものだそうだが、その献堂の折、私の二人の曾祖父が説教をしていたことが判明し、いささか驚いている。



横田相愛教会として再生、礼拝を守り続けています。

地方教会の伝道はどのようにあるべきなのか。地域社会における牧師という立場、また教会員の減少と高齢化による教会の課題も、その地を訪れてみて初めて現実として迫ってきます。教会を維持し礼拝を守っていくには教区・区内の協力が不可欠です。牧師先生をはじめ教会員の方々のお話を伺って、地方こそ、より御言葉と祈りが求められていると感じました。困難な問題を抱えている人々と教会はより向かい合っていく必要があるからです。これらの課題にどのように取り組むのか、今後も考えていきたいと思います。

## オープンキャンパス

### 新しい時代のキリスト教

### ～#なぜキリスト教なの？

2017年10月3日（火）

18:00～21:00

主催：日本聖書神学校学生自治会

## 神学校授業 “体験週間” (11月13日(月)～17日(金))

月：キリスト教史Ⅰ、キリスト教教育概論 火：旧約概論

水：旧約時代史 木：キリスト教と文学 金：ビーベル・クンデ、神学基礎文章理論

神学校の入学は希望しているものの、現実にはどのような学びが待っているのか不安だという方は、ぜひ教室の雰囲気を体験してみてください。

授業体験のお申し込みはファックス（03-3951-3044）かEメール（jbts@jbts.ac.jp）でお願いします。時間割や授業の内容などについての詳しい内容は、神学校まで。資料をお送りします。

## キリスト教研究所紀要、

## 『聖書と神学』第30号の原稿募集について

2018年度の「聖書と神学」30号は、グローバル化した世界の様々な問題を反映しつつ、「信仰と抵抗」（Faith and Resistance）を特集したいと思います。

2000年前、イエス・キリストが時代状況のなか、世界のため、人のため、一切の私益を放棄し、抵抗と信仰の生を貫き、十字架に死んで甦り、救いの創始者となり、完成し、「十字架を負って我に従え」と言われ

た贖罪の生に倣いたいと思ひ特集しました。今日における抵抗と信仰とは何か？、各自の関心と裁量にゆだね幅広いアプローチを期待しております。なお、従来通りの自由研究や書評の入稿も歓迎いたします。

論文の形式は、従来通り400字詰原稿用紙50枚相当の字数（注も含む）が目安です。締め切りは、最大限、来年5月末まで延長できます。初入校者は査読があります。

Eメールでの入稿をお願いします。アドレスは < wrpk860@yahoo.co.jp > です。日本キリスト教団八王子栄光教会のホーム・ページのメールでも結構です。（\*神学校宛ではありません。\*容量の大きな原稿も対応できます。文字化けが心配の方は、< pdfファイル > のような画像ファイルを併添付ください。）詳しくは、編集責任者（上記アドレス：郷義孝）までお尋ねください。

Diary 学事報告
2017年4月～8月

- 4月1日 学報(第154号)発行
4月3日 教授会(第1回)
4月3日 校長・教授就任式、入学始業礼拝説教「神の力によって」神保望校長、司式・聖餐:稲垣千世教授、新入生14名(正科生3名、聴講生5名)、出席者96名、礼拝後新入生歓迎会
4月4日 前期授業開始、神学基礎講座(受講生31名)開始
4月10日 同窓会役員会
4月11日 学生自治会総会・ホームルーム
5月9日 創立記念日
5月13日 日本神学教育連合会(JATE)総会懇談会に柳下明子教授が出席

- 5月16日 教授会(第2回)
5月21日 創立71周年記念集会、開会礼拝説教「主をこそ畏れよ」神保望校長、パネルディスカッション「それでも、今日わたしたちは伝道者を育てる」吉岡光人先生、菅原裕治先生、石田学先生、夕食会、参加者70名
5月22日 理事会(第226回)
5月22日 後援会役員会
5月30日～6月1日 ベンテコステ立証祈禱会
6月5日 教授会(第3回)
6月19日 実習教会牧師との懇談会
6月23日 図書館運用委員会
6月26日 同窓会役員会
6月27日 理事会(第227回)・評議員会(第206回)
7月16～17日 第6回献身志願者の集い、

- テーマ「主がお入り用なのです」、志願者5名、開会礼拝「執り成しの祈りによって立つ」神保望校長、献身の喜び:早川真神学生、小林恵牧師(小金井教会)、朝の礼拝「余は如何にして伝道者となりし乎」荒瀬牧彦教授、後援会の村上信男氏、菊池公平会長の話。
7月19～21日 前期補講日
7月20,21,24,26日 集中講義 精神医学特講(高梨愛子講師)
7月24～25日 前期試験
7月27日 心理テスト(4年生)
7月28日 教授会(第4回)、卒業論文中間発表会
7月31日～8月8日 シリマン大学神学校研修ツアー
8月28～30日 卒業生研修会

個人消息

- 神保望校長
寮監として毎朝の聖書研究祈禱会出席(月1回の祈禱会)
4月3日 教授会、神学校入学・始業礼拝説教奉仕(教授・校長就任式)
4月16日 飯能教会聖餐式奉仕
4月23日 目白町教会訪問(礼拝出席)
4月28日 人事委員会(毎月1回出席)
4月30日 信濃町教会訪問(礼拝出席)
5月1日 事務・職員打合せ
5月6日 新入寮生歓迎会
5月7日 飯能教会聖餐式奉仕
5月12日 東京教区常置委員会
5月14日 町屋新生教会訪問(礼拝出席)、戸山教会訪問(伝道師就任式出席)
5月16日 教授会、寮会(毎月1回出席)
5月17日 財政問題事実検証委員会
5月21日 目白教会訪問(礼拝出席)、神学校創立記念の集い説教奉仕
5月22日 理事会、教務打合せ
5月28日 田園調布教会訪問(礼拝出席)
5月29日 神学校月曜礼拝説教奉仕
5月29日 東京教区総会、病床訪問
5月31日 Philippine Study Program 第1回準備会
5月31日・6月1日 神学校ベンテコステ立証祈禱会
6月4日 飯能教会聖餐式奉仕(ベンテコステ)
6月5日 財政問題事実検証委員会、教授会
6月11日 田園調布教会訪問(礼拝出席)、信濃町教会訪問(伝道師就任式出席)
6月12日～14日 日本基督教団新任教師オリエンテーション出席
6月18日 武蔵野教会訪問(礼拝出席)、本所緑星教会訪問(牧師就任式出席)
6月19日 神学校実習教会牧師との懇談会
6月20日 同窓会神奈川支部研修会講師
6月22日 日本基督教団宗教改革500年記念礼拝出席
6月23日 神学校図書館運用委員会
6月24日 神奈川教区総会出席
6月25日 江古田教会訪問(礼拝出席)、南花鳥集会所訪問(牧師就任式出席)
6月27日 神学校理事会・評議員会
6月30日 Philippine Study Program 第2回準備会
7月1日 日本宣教会出席
7月2日 飯能教会聖餐式奉仕
7月3日 同窓会東京支部会・総会出席、献身志願者の集い準備会
7月9日 小石川白山教会訪問(礼拝出席)
7月13日 教区役員来訪面会
7月16日 武蔵野教会訪問(礼拝出席)
7月16日～17日 献身志願者の集い開会礼拝説教奉仕
7月19日 財政問題事実検証委員会、事務打合せ
7月21日 Philippine Study Program 第3回準備会
7月23日 目白教会訪問(礼拝出席)、東京カルバリ教会訪問(牧師就任式)
7月25日 東京教区常置委員会
7月26日 Philippine Study Program 第4回準備会
7月28日 教授会、神学校卒業論文中間発表会
7月30日 目白教会訪問(礼拝出席)
7月30日～8月8日 Philippine Study Program 引率
8月13日 目白教会訪問(礼拝出席)

- 8月15日～17日 日本基督教団教師継続教育第8回夏期研修会講師
8月20日 武蔵野緑教会礼拝説教奉仕
8月27日 東金教会訪問(礼拝出席)
8月28日～30日 同窓会卒業生研修会開会礼拝説教奉仕
ピーベルクンデ、宣教会、フィールドスタディー、説教演習Ⅱの授業を担当
荒瀬牧彦教授
4月8日 東大和9条の会 伊藤千尋氏講演会で主催者挨拶
5月『礼拝と音楽』173号(特集:聖歌隊)の『編集手帳』執筆
5月8～9日 カンバーランド長老教会日本中会牧師会一泊研修会(於箱根)で講師「礼拝によりよく仕えるために」
5月19日 青山学院女子短期大学礼拝説教
7月8日 第33回教会音楽祭「心ひとつに——争いから交わりへ——」(於玉川聖学院谷口ホール)のカンバーランド聖歌隊とエキキュメンカルオープン・クワイヤに参加
7月10日 礼拝学クラス担当が礼拝計画を担当。主題「踊れ」。
7月15日 日本キリスト教団出版局50周年『讃美歌21』発刊20周年記念礼拝(於富士見町教会)に礼拝ディレクターとして参加
7月17日 神学校「献身志願者の集い」の朝の礼拝を担当
8月『信徒の友』8月号に原稿執筆「平和の願いを歌声に込めて——御茶ノ水スタンディング」
『礼拝と音楽』174号(特集:賛美歌とことば)に『編集手帳』執筆
8月3～6日 カンバーランド長老教会アジア・ユース・ギャザリング(於オリンピック記念センター)に大会実行委員(礼拝担当)として参加。
8月22～25日
日本基督教団讃美歌委員会キリスト教音楽講習会Gコース(於日本聖書神学校)に講師として参加
神学校教授会「ハラスメント問題検証」のために古谷教授と共に調査・面接を行い、報告書を教授会に提出
神学校理事会「礼拝堂・図書館建築時の事実検証委員会」の委員として調査・面談を継続中
その他、カンバーランド長老めぐみ教会の牧会、青山学院女子短大のキリスト教学講義、上北台こひつじ保育園の合同礼拝および職員研修を担当
稲垣千世教授
4月30日 山梨分区分会総会出席
5月14日 山梨教会及川信牧師就任式出席
5月23～24日 東海教区総会出席
6月15日 山梨英和高校学年礼拝説教
6月26日 山梨英和大学礼拝説教
7月16日 市川教会主権説教牧師就任式祝辞
8月28～30日 JBTS 同窓会研修会参加
その他甲府中央教会牧師としての執務執行
山梨ダルクを支援する会副会長としての活動
郷義孝教授
4月14日 町田・八王子地区牧師会出席 於鶴川北教会
5月21日 JBTS 創立記念の集い出席
5月28～29日 西東京教区総会 於阿佐ヶ谷教会
6月1日 日本ホワイトヘッド・プロセス哲学会理事会に出席 於立正大学
6月18日 実習教会牧師の集い 於日本聖書神学校
6月23日 JBTS 図書館運営委員会出席 於JBTS 図書館
7月10日 町田・八王子地区牧師会 於原町田

- 教会
7月10日 聖書と神学」29号刊行 編集責任者、『寛容な世界と宗教多元論』を寄稿。
7月17日 伝道献身志願者の集い出席 於日本聖書神学校
7月28日 卒業論文中間発表会 於日本聖書神学校
8月28～30日 卒業生研修会出席 於日本聖書神学校
その他、八王子栄光教会牧師、日本ホワイトヘッド・プロセス哲学会理事、JBTS 図書館長・研究所所長を務める。
古谷正仁教授
4月1日 故今橋 朗牧師記念会司式
4月3日 神学校教授会、入学礼拝
4月7日 神学校礼拝説教
4月12日 横浜英和小学校1年生教会見学
4月21日 横浜英和中学校1年生教会見学
4月25日 教授会から依頼された問題での面接調査
4月28日 神学校人事委員会
5月1日 神学校人事委員会関係面談
5月14日 大井伝道所牧師就任式司式
5月16日 神学校教授会
5月19日 神学校人事委員会
5月20日 日本水上学園理事会
5月22日 神学校理事会
5月26日 教授会から依頼された問題での面接調査
5月27日 横浜英和学院評議員会、元住吉こぼと幼稚園理事会
6月6日 神学校教授会
6月7日 桜美林中学校花の日礼拝説教
6月10日 日本水上学園理事会
6月13日 教区横浜地区婦人委員会講演会開会礼拝説教
6月16日 教授会から依頼された問題での面接調査
6月20日 神学校同窓会神奈川支部研修会開会礼拝説教
6月24日 神奈川教区総会
6月27日 神学校評議員会・理事会
7月4日 老人ホーム「神の庭サンフォーレ」礼拝説教
7月5日 神学校人事委員会関係面談
7月7日 ギデアオン協会全国大会 in 横浜出席
7月8日 教授会から依頼された問題での面接調査
7月13日 教区内教会の問題に関する面談
7月14日 神学校人事委員会
7月16日～18日 神学校献身志願者の集い
7月18日 神学校人事委員会関係面談
7月24日 教区内教会の問題に関する面談
7月25日 横浜地区牧師会
7月28日 神学校教授会、卒論中間報告会
8月17日～18日 神学校同窓会東北支部研修会講演
その他①日本基督教団蒔田教会牧師としての執務執行②神奈川教区総会副議長としての執務執行(常置委員会、互助運営委員長、人事委員長、教区委員選考委員長、教区形成基本方針検討委員、セクハラ相談窓口設置準備委員長、教区規則・組織検討委員長)③日本キリスト教団出版局『教師の友』に「実践的子ども礼拝入門」を連載中
柳下明子教授/教務部長代行
6月13日 東京女子大学で礼拝説教
7月3日 同窓会東京支部会で講演「ルターおさらい」
その他 武蔵野緑教会牧師としての執務執行、『聖書と神学』29号寄稿